

令和7年度 札幌市研究開発事業

「生命（いのち）の安全教育の取組の推進に係る研究

「生命（いのち）の安全教育」の取組に関する

実践事例集



令和8年3月

1 はじめに

令和2年6月に政府の「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省庁会議」において、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」が決定されました。この方針を踏まえ、子どもたちが性暴力の加害者・被害者、傍観者にならないよう、令和5年度から全国の学校において「生命（いのち）の安全教育」が推進されることになりました。文部科学省においては、幼児期・小学校・中学校・高等学校の各段階に応じて授業等で活用できる教材や指導の手引き、大学生・一般向けの啓発資料等を作成・公表しています。

また、この方針では、令和2年度から4年度までの3年間で性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」と位置付け、教育・啓発の強化等の実効性ある取組を進めてきました。さらに、令和5年度から7年度までの3年間で「更なる集中強化期間」とし、これまでの取組を継続・強化することとされています。

札幌市教育委員会では、令和7年度に研究開発事業「生命（いのち）の安全教育の取組の推進」に係る実践研究を設定し、推進校である札幌市立きくすいもとまち幼稚園、札幌市立北野平小学校、札幌市立北野小学校、札幌市立北野中学校、市立札幌旭丘高等学校において、授業公開を伴う実践研究を行い、効果的な指導方法や、指導体制の在り方について検討してきました。生命（いのち）の安全教育に係る教材等の効果的な活用方法を探るとともに、助産院や大学の有識者から助言を得ながら、幼児児童生徒の実態等に応じた「生命（いのち）の安全教育」の実践研究を進めてきたところです。

本実践事例集は、これら5校の取組を基に、各学校における「生命（いのち）の安全教育」の推進の一助となるよう作成したものです。

本資料を参考に、各園・学校や地域の状況に応じた「生命（いのち）の安全教育」の実施について、積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。



※授業後意見交換会の様子

2 実践事例

幼稚園

<実践事例>

札幌市立きくすいもとまち幼稚園

たいせつにしよう じぶんのからだ



年長 学級活動時における保健指導

指導の
ポイント

○絵本やスライドを活用しながら、日常生活でみられる具体的な場面を提示し、嫌なことをされたり、言われたりした時には、「嫌だと言って逃げ、大人に話すこと」など、対応方法を理解できるようにする。

本授業の
位置付け

幼稚園教育要領との関連
第2章 健康
ねらい

(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。

使用
教材

○文部科学省「生命（いのち）の安全教育」を基に幼児の実態に合わせて編集・作成したスライド資料を使用。



○絵本「だいじ だいじ どーこだ（大泉書店）」を使用。

指導
計画

時	主な指導内容	ポイント・工夫
1	○みんながもっている大切なもの	・絵本「だいじ だいじ どーこだ」と、文部科学省作成教材を基に編集・作成したスライド資料を使用し、体の中で特に大事なところと、自分や相手の体を守るための約束について理解できるようにする。
2 本 時	○嫌な気持ちになったときの対応方法	・日常生活で見られる具体的な事例を通して、嫌な気持ちになる場面について考え、対応方法を知る。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本時の展開

本時のねらい

○自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになったときの対応方法を知る。

学習内容・活動等	留意点等
<p>○「じぶんのからだのだいじなところ」について確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">シャツやパンツでかくれるところ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">顔や口</div> </div> <p>○じぶんやともだちのだいじなところについて、約束を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">見ない・見せない・触らない</div> <p>○友達とのかかわりを示す場面のイラストを見る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回覚えたことや約束について確認する。 ・恥ずかしさで笑いが出ることも想定しながらも「真剣モード」で話を聞くことを子どもたちと確認する。
<p>こんなとき、どんなきもちかな。どうしたらいいかな。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・だいじなところを急に触るいたら ・トイレをのぞかれる ・パンツをおろしておしりを見せられる </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">はずかしいよ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">やめてほしいよ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">わらわないで</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で具体的な場面のイラストを示し、状況を捉えたり、登場人物の表情から気持ちを想像したりすることができるようにする。
<p>もし、そんなことがあったら…</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">「いやだ」・にげる・おとなにいう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な行動を声に出して何度も復唱し言えるようにする。
<p>触られたり、見られたり、見せられたりしたら、嫌な気持ちになるね。嫌な気持ちの時は、「いやだ」「にげる」「いう」が大事だね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な約束などは、イラストなどで表し、教室に掲示してすぐに確認できるようにする。
<p>○大事な約束を声に出してみる。</p>	

本実践の成果と課題について

指導の展開

本実践においては、年長児の発達段階を踏まえ、生命（いのち）の安全教育の内容を無理なく理解し、日常につなげていくことをねらい、2回に分けて実施した。第1回では、体は全て大切であることを確認した上で、その中でもシャツとパンツで隠れるところ（プライベートゾーン）は特に大切なところであること、また、自分や相手の体を守るための約束として、自他の大切なところは「見ない・見せない・触らない」ことを理解した。第2回では、第1回の内容を踏まえ、日常生活でよくある場面をイラストや映像で提示し、登場人物の気持ちを考える活動を行った。大切なところを見られたり、見せられたり、触られたりすると嫌な気持ちになることを確認した上で、嫌な気持ちになった場合の対応方法として「嫌だと言う」「逃げる」「大人に言う」の3つを幼児との対話の中で整理した。

発達の段階に応じた指導内容

子どもたちが自分の経験と結びつけながら考え、内容の理解を深められるように、担任と事前に相談し、日常の園生活の中で実際によくみられる場面をもとにした具体的な事例を取り上げ、登場人物の気持ちを考える活動を行った。また、恥ずかしさから指導の内容に過剰に反応することも予想されたため、「体を守るための大切な話であること」「真剣に聞いてほしいこと」を事前に伝え、落ち着いて話を聞くことができる雰囲気大切にしました。椅子を用意することや、幼児同士の位置関係・座席の配置を教師が調整するなど、環境面の工夫も行っている。さらに、嫌な気持ちになった場合の対応方法については、幼児が具体的な行動としてイメージしやすく、知識として定着しやすいように、「嫌だと言う」「逃げる」「大人に言う」という簡潔な言葉で示した。

実践前後の幼児の様子

本実践を行う前は、プライベートゾーンを見せる・触る等の行為はふさわしくないと理解していても、遊びの延長や幼児同士の関わりの中で、つい相手の体に触れてしまったり、見せてしまったりする姿がみられた。指導後には、「見ない・見せない・触らない」という約束を覚え、自制する姿が増えている。また、つい触ったり見せたりしてしまっただけにも、教師が同じ言葉を用いて気付きを促すことで、幼児が自分の行動を振り返りやすくなっている。

行事との関連

【プール遊びとの関連】

プール遊びの時期は、一斉に着替える場面が増えるため、体の大切さについて考えるよい機会となる。自他の体の大切なところ（プライベートゾーン）は、「見ない・見せない・触らない」ことを確認するなど、自分や相手の体を大切にすることを意識につなげていきたい。

【不審者対応訓練との関連】

本実践では、幼児に過剰な恐怖心や不安感を与えないように、大人からの性暴力ではなく、園生活の中で起こり得る幼児同士の関わりを題材として取り上げた。しかし、性暴力から自分を守るための知識や判断力を身に付けることも必要である。本園では、不審者対応の訓練の機会に、映像教材の視聴等を通して犯罪被害防止についても取り組んでいる。

大切にしたい自分や友達の心と体

6年生 特別活動



指導のポイント

○個人情報やSNS等で不特定多数の人に知らせることを避けることで、トラブルや性被害の危険から自分や友達を守るということを再確認し、安全な行動を自分で判断できる力を育むことができるようにする。

本授業の位置付け

小学校学習指導要領との関連

第6章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

2 内容 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

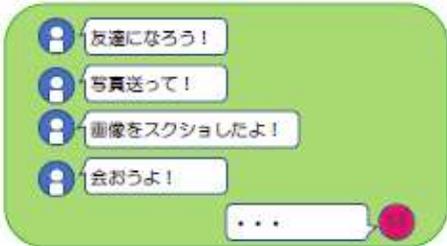
指導計画

時	主な学習活動	ポイント・工夫
1	<p>○人との体と心の距離感</p> <p>・「相手を思いやる距離感をもつことが、安心できる関係をつくる」ことを学び、次時につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心と体には距離感があるという認識を身に付け、他の人の気持ちを尊重した意思決定と行動選択ができるようにする。 ・文部科学省教材（小学校高学年用）スライド資料を活用。
2 本時	<p>○見えない相手とつながるときの危険</p> <p>○安全な意思決定</p> <p>・「自分も、友達も、知らない相手も傷つけないつながり方」について考える。</p> <p>・「見えない相手にも“心の距離”をもつことが大切」と再確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどで見えない相手とつながることの危険について考え、安全な意思決定と行動選択ができるようにする。 ・被害者・加害者・傍観者の三つの立場の視点を意識させる。 ・文部科学省教材（小学校高学年用）スライド資料を活用。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本時の展開

本時の目標 ○SNSなど見えない相手とつながる時に、自分や友達を守るための安全な意思決定や行動選択ができるようにする。

学習内容・活動等	留意点等
<p>○この写真、投稿しても大丈夫かな？ 誰でも見ることができるSNS…</p> <p>できるかな…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投稿しても安全か判断すること ・危険を事前に察知すること <p>○実際にどのような事件やトラブルが発生しているかな？</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学生のSNS起点犯罪被害の実態 ②SNS起因の性被害の事例 ③被害のうち「被害者発信」が7割の実態 <p>SNSのトラブルから自分を守るためにはどうしたらいいかな。</p> <p>○模擬チャットを見て意見を交流する。 SNS風のカードを使って、「こんなときどうする？」を話し合う。</p>  <p>知らない相手だけど、仲良くなってきたけど…</p> <p>知らない相手との距離感を考えると…</p> <p>名前や住所を書いてはだめだよ。</p> <p>直接会ったら危険がありそう。</p> <p>友達が危険な状況だったら…</p> <p>危険を察知</p> <p>下着姿や裸の写真は送っちゃだめだよ。</p> <p>大人に相談する。</p> <p>安全な行動</p> <p>「怖い」と思ったらすぐやめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が特定されやすい写真を提示（AIで作成の写真資料）し、課題意識をもてるようにする。 ・実際のトラブル事例を簡潔に提示する。（恐怖を煽らず、自分のこととして考えさせる。） ・性被害に関するものにも触れる。（具体的な表現はしない。） ・判断の分岐点になるポイントについて考えることができるようにする。 ・電話やSNSでも大人に相談できることを知らせる。
<p>「情報を守る（出さない）」「危険を避ける」「相談する」ことが大切</p> <p>○振り返りを書く。 自分や友達の心や体をどのように大切にしていこうかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見えない相手とも「心の距離感」が大切 ・加害者が悪いのであって、被害者は悪くない ・困ったら、一人で悩まないで、必ず誰かに相談する 	 <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市教育委員会作成の「相談窓口周知カード」の確認をする。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本実践の成果と課題について

主体的な学びを意識した授業構成

教師からの一方的な知識の伝授に終始するのではなく、子どもの主体的な学びを意識して授業を構成することは、子どもが自ら考え、行動する「自己防衛力」や「対人尊重の態度」を養うために重要であると考えた。対話、ロールプレイ、事例分析などを通じ、「自分のこと」として学ぶことで、性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための力をよりよく育むことができると考え、本実践で行った。

○ロールプレイ：「嫌なことを言われたら、どうやって断るか」「困った時にどう大人に助けを求めるか」をペアで演技する。

○クイズ・事例分析：SNS上のトラブルなどの身近な事例を読み、状況を確認しながら「何が悪いのか」「どうすれば防げたか」を話し合う。

○グループワーク：よりよい人間関係の距離感について可視化する活動を行ったり、相談先を全員で確認したりする。

実際の子どもの反応

SNSのやり取りを想定した模擬チャットを用いた話し合いの場面において、「全ての場面に危険が潜んでいるのでは。」と感じる子がいた一方、「これぐらいは大丈夫だよな。」と発言する子がおり、危険察知には個人差があることを痛感した。

困った時にどうするかを考える場面では、「親には言えないよね。」といった本音が出され、行動選択に至る思考の過程についても、自分のこととして考えている様子がうかがえた。

振り返りの学習カードには、「自分の心と体は自分だけのものだから、自分で決めていい。」「自分も相手も傷つかわないようにしたい。」「SNSには個人情報流さない。」「自分で解決できないときには、信頼できる大人に相談したい。」など、自他の尊重と主体的な意思決定に関わる記述が多く見られた。

パートナー校との連携

今回の実践は、パートナー校（中学校1校、小学校2校※本校含め）との連携を図ったこともポイントの一つであった。パートナー校の小学校においても6年生児童に同じ教材を使用して本授業を実施してもらった。同じ内容を学習して進学させることは、9年間を通じた系統的・継続的なカリキュラム作成のためにも効果的であると考えた。

【パートナー校との連携の具体例として考えられること】

- ・教材、指導案の共有。 ・発達の段階に応じた内容・重点の共有。
- ・パートナー校の教員が意見を交流する機会（札幌教研春の研究集会等）で、討議テーマの一つに「生命（いのち）の安全教育」を設定する。

他教科、行事とのつながり

【水泳学習との関連】

水遊び・水泳学習では、水着に着替える、肌を見せる、ふざけて身体に触れるという機会が増える。学習の前に、全学年で「生命（いのち）の安全教育」を実施する体制を整えていきたい。

【宿泊的行事との関連】

宿泊的行事（宿泊学習・修学旅行）の事前学習で「心や体の距離感」について考えることができるようにしたい。自分や他人の心と体を大切にしようとする意識を高めることで、安心・安全な集団生活が実現できると考える。計画的に「生命（いのち）の安全教育」を行っていききたい。

たいせつにしよう

じぶんのからだ・ともだちのからだ

特別支援学級 1年生～6年生 特別活動



指導のポイント

○文部科学省の教材を使用して、自分と他の人の大切なところを守るルールについて繰り返し確認し、自分のことも相手のことも大切にしようとする態度を育むことができるようにする。

本授業の位置付け

小学校学習指導要領との関連

第6章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

2 内容 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

※<自立活動> 3 人間関係の形成「他者の意図や感情の理解」「自己の理解と行動の調整」とも関連

指導計画

時	主な学習活動	ポイント・工夫
1	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の体は大切。自分だけの大切なところ ○他の人の体も大切。 ○嫌な気持ちになったときはどうする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省の教材を使用し、自分や他の人の大切なところを守るルールについて理解できるようにする。 ・嫌な気持ちになったときの行動について具体例を挙げて説明する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 文部科学省教材（小学校低・中学年用）スライド資料を活用。 </div>		
2	<ul style="list-style-type: none"> ○周りの人を嫌な気持ちにさせない行動を知ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情カードを使用し、具体的な事例を通してその行動によって周囲がどのように感じているのかを考えさせる。
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○嫌な気持ちの表現方法を知ろう。 ○嫌な気持ちをはっきり伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌な気持ちの具体的な表現方法（表情やしぐさ）を理解し、ロールプレイングを通して実践する力を養う。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本時の展開

本時の目標 ○嫌だと感じている時の具体的な表現方法を知ること、相手が嫌だと感じていることに気が付けるようにするとともに、自分の嫌な気持ちをはっきりと伝える方法を身に付ける。

学習内容・活動等	留意点等			
<p>○自分や友達の体を大切にするためのルールを確認する。 みない みせない さわらない さわらせない 周りの人を嫌な気持ちにさせない行動が大切とわかっているけど…</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> どうしたら、友達の「いやだ」に気付けるかな。 </div> <p>○提示された複数の場面（教師2名の役割演技）を見る。 登場人物の「いやだ」を見つけたら「いやだカード」を選んで知らせる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 場面① 汚れた手で手をつなごうとしてきた… </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 場面② 体をくっつけて隣に並んできた… </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 場面③ 友達が投げキッスをしてきた… </td> </tr> </table> <p>【気付いたポイントは？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌そうな（困った）顔 ・体をよける動作 ・うつむくしぐさ ・ためいき など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 場面④ 「裸の写真撮らせて」と言われた… →笑った顔で「え～。いやだなあ。」 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 言葉や表情、しぐさ（動作）に、「いやだ」のきもちが表れているね。友達の「いやだ」に気付くこと、自分の「いやだ」をはっきり伝えることが大切だね。 </div> <p>○ロールプレイングで、「いやだ」をはっきりと伝える練習をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">大きい声を出そうかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;">動作で伝えたいな。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 笑いながら言っても伝わらないかも。 </div> <div style="margin: 10px 0;"> </div> <p>○もし「いやだ」が言えなかった時、だれに相談するかを考え、ワークシートに記入する。</p>	場面① 汚れた手で手をつなごうとしてきた…	場面② 体をくっつけて隣に並んできた…	場面③ 友達が投げキッスをしてきた…	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストと簡単な言葉で「合言葉」を掲示し、いつでも確認できるようにする。 ・教師による役割演技で、場面の状況の理解を促す。 ・「いやだカード」を使って、気付いたことを表現しやすいよう支援する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「いやだ」の具体的な表現について、ロールプレイングで実際に行ってみることで、理解を深めるとともに、日常生活で実践しようとする気持ちを育む。 ・ロールプレイングの参加が難しい児童には、実践できそうな表現をイラストから選択できるようにし、教師の演技を見ることで理解を促す。
場面① 汚れた手で手をつなごうとしてきた…	場面② 体をくっつけて隣に並んできた…	場面③ 友達が投げキッスをしてきた…		

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本実践の成果と課題について

日常生活で実践できる力を育むために

学習課題を自分事として捉え考えられるよう、日常で起こり得る生活場面を設定した。イラストと合わせて2人の教師による演技で提示することで、場面の理解だけでなく、言葉やイラストでは表現しにくい「距離感」や「相手を不快にさせる行動」についての理解も促すことができた。また、子どもの反応に合わせて強調したい部分を繰り返し提示するのが良かった。どの子ども場面を理解し、カードを利用しながら全員が自分の考えを表現できていた。

ロールプレイングで実際に行動してみることで、「嫌だ」をはっきりと伝えることの大切さや難しさの実感を促すことができた。

本実践を通して、知識の定着と実践する力を育むことで、自分を守る力と合わせて意図せずに相手を傷つけてしまうことがないようにする力を育む大切さを改めて感じた。

自立活動における課題を意識した学習内容の精選

「生命（いのち）の安全教育」は、自立活動の指導内容とも関連させて指導することが有効であると考えられる。本実践では、「相手の気持ちに関心を寄せることが難しい。」「相手の気持ちに気付いても自分の気持ちを優先してしまう。」という学級児童の実態から、

<自立活動>

3 人間関係の形成「他者の意図や感情の理解」「自己の理解と行動の調整」にも関連させて、知識の理解にとどまることがないように、実際の生活で機能する対人スキルの学習へと発展できる内容を構築にした。「相手の嫌な気持ちに気付く。」（加害者にならないために）、「自分の嫌な気持ちをはっきりと表現する。」（被害者にならないために）といった、感情理解と行動調整を結び付ける学習を関連させることで、自分と他者の双方の尊厳を守りながら関係を築いていく力を育てることができるのではないかと考えた。

「生命（いのち）の安全教育」の教材を活用した継続的な学習

特別な教育的支援が必要な子どもの中には「自分のからだも他の人のからだも大切である」ことを理解し、そのためのルールを知識として定着するのに時間がかかったり、理解はしていても周囲に流され安全な意思決定や相手の気持ちを尊重した意思決定をすることが難しかったりする子どもも多い。当たり前のゆるぎない意識として子どもたちに定着させることができるよう、以下の必要性を本実践の中で感じた。

「幼児期から継続的に学習を積み重ね定着させること」

文部科学省の「生命（いのち）の安全教育」の教材を基本教材として活用することで、校種や指導者が変わっても系統的・継続的な学習の積み重ねができると感じた。本実践でも1時間目で使用したスライドは、今後も学級の実態に合わせて修正を加えながら、年間を通じて、継続して活用していきたい。（毎年度、同じ教材を用いて、繰り返し取り組むことでも定着を促すことができると考えている。）

「安全行動を示す合言葉を誰もが覚えること」

防災教育（避難訓練の「お・は・し・も」のように）と同様に、「生命（いのち）の安全教育」でも分かりやすい合言葉を活用し、意識の向上・定着につなげることが重要と考える。本実践では「みない・みせない・さわらない・さわせない」「いやだ→にげる→はなす」という簡単な言葉とイラストで印象付け、合言葉として毎時間確認した。

「大切な心と体を守るために」
 ～「性暴力」の被害者・加害者・傍観者にならないようにするために～



1年生 保健体育（保健分野）

指導のポイント

- 性暴力についての様々な知識を身に付けるとともに、人との「距離感」について、事例をもとに考え、身近な問題としてとらえることができるようにする。
- デートDVについて、事例をもとに「好きならOK」という思い込みを表面化し、「一方的に」「相手の気持ちを無視」が暴力につながる可能性を整理する。

本授業の位置付

中学校学習指導要領（保健体育：保健分野）との関連

(2) 心身の機能の発達と心の健康

- イ 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

○文部科学省教材（中学校用）スライド資料、動画資料を使用。

使用教材・準備物・留意点

性暴力とは？

性暴力とは、あなたが望まない性的な行為のことです。
 相手が恋人や家族、顔見知りだったとしても、あなたが望まない性的な行為はすべて性暴力です。

- 相手がいやがっているのに、性的な言葉や行動で人を傷つけたり、体を触ったり、見せつけたりするなど、性的な言葉や行動で人を傷つけることは性暴力です。
- 体に触る暴力だけが性暴力ではありません。
- 性別にかかわらず被害にあいます。

体に触る性暴力 **体に触らない性暴力**

- 悪いのは加害者です。
- 被害にあった人は悪くありません。
- どんな理由があっても性暴力は決して許されません。

「性暴力」について、正しい認識をすることができるよう、教材を活用しながら、丁寧に説明する。
 デートDV、SNS被害の例から、支配・コントロールなども暴力として捉えることができるようにする。

自分と相手を守るもの
 ～距離感ってなに？～

自分の心や体は自分だけのものです。他人との距離は自分自身で決めることができます。自分と相手を守る時に距離感が役立ちます。

体の距離感 **心の距離感**

心地よい距離は人によって違います。近寄られるのをいやがる人もいます。

どんなに仲のよい相手でも、いつも自分と同じ気持ちではありません。相手の気持ちを大切に、自分の気持ちも大切にしましょう。

僕はAだと思ってる 私はBだと思ってる

あなたが相手と接するときに心地よいと感じる距離を考えてみましょう。
 ①家族 ②友達 ③知らない人

違う考えの人もいるんだね

自分と相手を守る「距離感」について意識することは「性暴力」を防ぐことにつながることを理解できるようにする。
 よりよい人間関係をつくる上では「同意」や「尊重」が大切であることを理解できるようにする。

○過去に辛い経験をもつ生徒がいる可能性を常に念頭に置き、事前アンケートを通して生徒の実態や不安の有無を把握するなど、心理的安全性の確保に十分配慮して授業を実施する。

○保護者と指導内容を共有し理解を得ることで、家庭における安全管理や保護者の意識向上へとつなげていく。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本時の展開

本時の目標 ○性に関する適切な態度や判断、行動の選択が自他の安全を守るために必要であることを理解し、安全を確保するための適切な意思決定・行動選択を判断できるようにする。

学習内容・活動等	留意点等
<p>○本時の学習内容について確認する。</p> <p>「性暴力」の被害者・加害者・傍観者にならないようにするために</p> <p>○「性暴力」にはどのようなものがあるか知る。</p> <p>データから…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳未満の被害が多い ・加害者が身近な人である場合も少なくない <p>どのようにすれば、被害に遭わないか、加害者にならないか。</p> <p>○身近な事例から考えたことをグループや全体で交流する。</p> <p>・事例1「デートDV」…好きだったらいいの？</p> <div data-bbox="172 862 683 1211"> <p>性暴力の例【デートDV】</p> <p>DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、結婚している相手など親密な関係の相手からふるわれる暴力のことです。恋人同士の間で起こる暴力のことを「デートDV」と言います。</p> <p>どんなことがデートDVになるの？</p> <p>身体的暴力 精神的暴力 経済的暴力</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 暴力を手段として、相手を思いどおりにしたり、一方的に言うことを聞かせようとします。 ● 殴る、蹴るといった体に対する暴力だけでなく、相手をバカにしたり無視をするといった行為もDVです。 <p>こんな思い込みをいませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相手は私にだけ愛情を注いでいるから大丈夫 ● 相手の暴力は自分だけのせい ● 相手は私にだけ愛情を注いでいるから大丈夫 <p>親しい関係でも自分と相手の気持ちを大切にしましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分がいやだと思ったことはいやと伝える ● 相手がいやがることはしない </div> <p>相手の気持ちや相手の同意を確かめないと…</p> <p>思い込みや勘違いで、相手を傷つける可能性がありそう…</p> <p>・事例2「SNS等を通じた被害」</p> <p>…自分の情報を伝えていいの？</p> <div data-bbox="172 1317 683 1666"> <p>性暴力の例【SNS等を通じた被害】</p> <p>インターネットやスマートフォンは、性暴力に巻き込まれてしまうきっかけになることもあります。加害者や被害者にならないためにはどうすればよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インターネット上で知り合った相手を簡単に信用しない。 ● インターネット上で知り合った相手はもちろん、交際相手や友達であっても下着姿や裸の写真の撮ったり、撮らせたり、送ったり、送らせたりしない。 ● 問題が起きたときは、一人で悩まず周囲の信頼できる大人や警察、相談窓口にご相談しましょう。   </div> <p>知らない相手との「距離感」をしっかり考えないと…</p> <p>もし下着姿や裸の写真を送ったらどうなるのかな…</p> <p>相手との「距離感」を大切にしたり、意識したりすることで、よりよい人間関係を築ける。性暴力防止につながるね。</p> <p>○振り返りをワークシートに記入する。</p> <p>○「もし被害にあいそうになったらどうするか」を考える。</p> <div data-bbox="159 1937 422 2027"> <p>「嫌だ」としっかり伝える。</p> </div> <div data-bbox="438 1937 734 2027"> <p>逃げたり、距離をとったりする。</p> </div> <div data-bbox="750 1937 1045 2027"> <p>一人で抱え込まず相談する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習中に不調を訴えて退出したい等の場合は教師に申し出ることを伝える。 ・自分の気持ちを伝えられないなど、非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があることを気付かせるようにする。 ・対話を通して、安心できる「体の距離感」「心の距離感」は、人によって違うことを理解できるようにする。 ・「もし友達が被害者や加害者になりそうだったらどうするか」について問うことで、傍観者にならない、という視点で考えることができるようにする。 ・相談先や相談方法について、具体例を示す。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本実践の成果と課題について

本実践から考えたこと

中学生はスマホやSNSの使用が日常化しており、性的画像の送受信による被害や、性的同意が曖昧なままの身体的接触によるトラブルは、どの子にもどの学校にも起こり得る状況になっていると感じている。本実践の導入段階では、デートDVにおける束縛を「愛されている証」と考える生徒も複数おり、性暴力への認識が極めて低い実態があることが分かり、予防的観点からの「生命（いのち）の安全教育」の必要性を痛感した。

本実践では、文部科学省の指導指針に基づき、「性暴力とは何か」を生徒が自分のこととして捉え、「自他の尊重」「SNSの危険性」「性暴力」「デートDV」の事例把握から対処法の習得まで、内容を網羅的に学習できるよう構築した。しかし、指導すべき内容が多岐にわたり、一つ一つをじっくり扱うことができなかった。今後はさらに厚みのある計画とするため、学年ごとに内容の重点化を図っていきたい。課題を焦点化し、探究活動の時間を十分に確保することで、主体的な学びを実現することができると思う。

生徒の様子・ワークシートの記述から

授業後の振り返り等から、生徒が自分事と捉えて考えることができたことを確認することができた。
<生徒のワークシートの記述から>

- ・性暴力について全然何も知らなかったし、聞いたことがあったけど、私には関係ないと思っていました。でも今日勉強してみて、性暴力の被害者、加害者のどちらにもなり得ることがわかって少し怖かったです。・被害者・加害者にならないように、自分の意見をしっかりと伝えたり、相手のことを考えられるように気をつけたりしたいなと思いました。
- ・中学生になって、性行為などの話題がよく出るけれど、軽く考えてはいけなし、相手を尊重しながら自分の気持ちを伝えることが大切だと改めて思いました。・人間関係は、近ければ近いほどいいってことじゃないから、ほどよい距離感をとったり、お互いがお互いのことをしっかり考えたりして、自分と相手を守ってほしいと思いました。
- ・改めて性暴力って怖いなって思ったし、自分ももし、知らないうちに加害者になっていたらと考えるとこわいので、相手の気持ちを考えて、お互いに気持ちよく過ごせるようにしたいと思いました。

教育課程・学校安全計画への位置づけ、指導体制等について

今回は、保健体育科（保健分野）の1時間として計画したが、内容が多岐に渡るため単発の指導には限界がある。多角的な視点からの教育や段階的・継続的な指導が不可欠であり、道徳や特別活動、総合的な学習の時間を含め、教育課程・学校安全計画に明確に位置付ける必要性を強く実感している。

・特別活動での展開：

「より良い人間関係の構築」の観点から、デジタル性暴力防止やSNSにおける適切な距離感について話し合う実践が有効である。

・学校安全計画への反映：

各項目に位置付け、系統的な教育の実施、校内体制の整備（発生時の対応、教職員研修、保護者・地域連携）を進める必要があると感じた。一部の教員や授業に限定せず、学校全体で生徒の安全・安心を支える体制づくりが重要である。

パートナー校との連携について

本校中学校区の3校で指導案検討・授業実践を行い、計画段階から各校種の実情を共有できたことは極めて有益であった。性暴力の低年齢化・深刻化を鑑みると、小学校段階から系統的な指導計画を策定することの重要性を再認識した。

大切な心と体を守るために

2年生 保健体育（科目：保健）



指導のポイント

- 抽象的な話に終始せず、「断りづらい空気」や「親密さゆえの油断」といった現実的なリスクをリアルな場面設定でシミュレーション（危険予知）し、どのように自分と相手の安全を確保すべきか（回避策）を具体的に考えることができるようにする。
- 人との安心できる「距離感」について、自分の考えをもつこと、そして他者の考える「距離感」を尊重せず、踏み越えることは「安全な社会」に対してのルール違反であることについて理解を深めることができるようにする。

本授業の位置付け

高等学校学習指導要領（保健）との関連

3 内容

(2)安全な社会生活

- イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えそれらを表現すること。

(3)生涯を通じる健康

- イ 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。

使用教材・準備物・留意点

- ・内閣府男女共同参画局 資料「人と人とのよりよい関係をつくるために」を活用。
- ・文科省「生命(いのち)の安全教育」の教材(高校生向け)スライドを活用。

自分と相手を守るもの ~距離感ってなに?~

自分の心や体は自分だけのものです。他人との距離は自分自身で決めることができます。自分と相手を守るときに距離感が役立つことがあります。

体の距離感	心の距離感
心地よい距離は人によって違います。近寄られるのをいやがる人もいます。	どんなに仲のよい相手でも、いつも自分と同じ気持ちではありません。相手の気持ちを大切にし、自分の気持ちも大切にしましょう。
あなたが相手と触るときに心地よいと感じる距離を考えてみましょう。 ①家族 ②友達 ③知らない人	僕はAだと思う / 私はBだと思う 違う考えの人もいるんだね

考えてみよう

Aさん（女子）とBさん（男子）は、高校の部活の先輩後輩です。

Aさんは、高校の部活の先輩のBさんから、夜に近所の公園に呼び出されました。Aさんは夜に公園で会うことが心配だったので断れず、会いに行きました。

2人で話をしていたら、BさんがAさんに突然キスしようとしてきました。

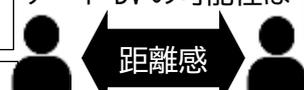
Aさんはキスしたいと思っていなくて、いやな気持ちになりました。でも、先輩に嫌われたくないと思い、いやだと言い出せませんでした。

- ・授業導入時に、自作のSNS投稿写真風の加工をしたAI画像を使用し、危険を予測する活動を行った。
- ・二次被害防止のために、居づらくなったら退室できるような配慮をする。
- ・授業後に、担任や養護教諭、SCとの連携による相談体制をつくる。

※スライド・イラスト：文部科学省「生命(いのち)の安全教育」の教材より引用

本時の展開

本時の目標 ○日常生活やSNS上での具体的な場面において、相手との距離感や言動に潜む危険（リスク）を予測し、安全を確保するための適切な意思決定・行動選択を判断できるようにする。

学習内容・活動等	留意点等																
<p>○危険を察知できるか試してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 投稿写真事例から気付くことは何か →場所が特定される →個人が特定される  ・ 他人との適切な「距離感」を意識していないと… <p><u>自分の心や体の安全を守れない可能性が</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>心と体の安全を守るために、人との「距離感」をどのように意識していけばよいのだろう。</p> </div> <p>○自分の心や体の安全が脅かされそうな事例を基に、人との「距離感」について考え、交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>事例1 彼氏から部屋に行こうと誘われた。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>好きだけど…？ デート DV の可能性は</p>  <p>断りづらい…？ 騙される可能性は</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>事例2 付き合っている人のスマホをチェック</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>事例3 SNS で知り合った人との交流</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>断りづらい…？ 騙される可能性は</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>事例4 SNS で怪しいアルバイトの誘い</p> </div> </div> <p><適切な意思決定・行動選択のためには></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「嫌だ」という意思表示・会わない（一人で行かない） ・ 冷静になる・相談する・事前に調べる <p>○データや実際にある事案から、性暴力、性被害のリスクについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS は便利だが、距離感を崩すアイテムにもなる ・ 被害者の多くが同年代 ・被害者は女性に限らない ・ 性暴力には、体に触る暴力、触らない暴力がある ・ 被害者非難は二次被害に→悪いのは加害者 ・ 被害に遇ったら、加害に気付いたら→助けを求める <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ よい人間関係は、自他尊重と適度な距離感から ・ 自他ともに尊重し合える関係性を普段から育むことが大事→性暴力を防ぐ </div> <p>○本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を通して気付いたり、考えたりしたこと ・ 今後の生活で取り入れたいこと <p>○被害についての相談方法、相談先の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習中に不調を来して退出したい等の場合は教師に申し出てよいこと等を伝える。 ・ AI で作成の写真（イラスト）資料を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例を基に考えをグループや全体で交流し、「距離感」やリスクの捉え方、感じ方が多様であることを理解できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査」のデータを提示し実態を捉えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">加害者との関係</p> <table border="1"> <tr><td>交際相手・元交際相手</td><td>29%</td></tr> <tr><td>配偶者・元配偶者</td><td>27%</td></tr> <tr><td>職場・アルバイト先関係者・客</td><td>12%</td></tr> <tr><td>学校・大学の関係者</td><td>5%</td></tr> <tr><td>SNSなどで知り合った</td><td>4%</td></tr> <tr><td>その他顔見知り</td><td>16%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>10%</td></tr> <tr><td>全く知らない人</td><td>12%</td></tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悩みを一人で抱え込むことが無いよう、相談方法や相談先について具体的に紹介する。 	交際相手・元交際相手	29%	配偶者・元配偶者	27%	職場・アルバイト先関係者・客	12%	学校・大学の関係者	5%	SNSなどで知り合った	4%	その他顔見知り	16%	その他	10%	全く知らない人	12%
交際相手・元交際相手	29%																
配偶者・元配偶者	27%																
職場・アルバイト先関係者・客	12%																
学校・大学の関係者	5%																
SNSなどで知り合った	4%																
その他顔見知り	16%																
その他	10%																
全く知らない人	12%																

※スライド：文部科学省「生命（いのち）の安全教育」の教材より引用

本実践の成果と課題について

性暴力・トラブルにつながる様々な事例の活用

文部科学省の「生命（いのち）の安全教育」の教材にある補足資料（事例集）を用いて、様々な事例（デートDVやSNSの危険性、セクシュアルハラスメントやJKビジネスなど）を準備した。身近に起こり得る具体的場面を通して「そのとき自分はどうするか」を切実な問題として考えることができ、資料活用の効果を感じた。また、事例を基にグループワークを行ったことで、危険の兆候を察知するポイントや判断の分かれ目等について、他者の感じ方や価値観の違いを実感して理解しながら、危険察知の重要性や安全な行動基準を主体的に考えることができた。

生徒の「意識・実態調査アンケート」を用いた授業構成

本校では単位制移行期間（平成14年）から現在まで、生活・健康に関する意識・実態調査アンケートを毎年実施している。その結果から、「生命（いのち）の安全教育」に関連する部分を抽出し、生徒にフィードバックした。アンケート結果を活用することで、生徒が自らを客観視し、同年代の多くが同様の悩みや関心を抱えていることを実感することができた。また、本校全年次の意識傾向や「性に関する正しい情報を得たい」と思っている現状を生徒自身が実感したことで、不安感が軽減され、安心して相談したり正しい情報を求めたりしようとする態度の形成を促すことができると感じた。

生徒の様子・ワークシートの記述から

多くの生徒が自身のネットリテラシーを振り返り、SNSへの安易な書き込みや投稿が危険であり、性暴力の被害・加害・傍観につながり得ることを理解していた。また、これまで友人との関係や距離感に悩んできた生徒も多く、自分の心身を守ることに加え、友人や周囲の人を大切にすること、相談しやすい雰囲気づくりの重要性、その場の感情に任せた軽率な行動を避け、見通しをもって意思決定・行動選択を行う必要があることを再認識していた。

さらに、SNSトラブルを抱えた友人から相談を受けた経験のある生徒も多く、これまでの対処を振り返って反省する様子も見られた。「生命（いのち）の安全教育」は不可欠であり、高校2年次に学ぶ機会を得たことは大変有意義であったとの振り返りもあった。

安心して学習できる体制と今後の展望について

本校は単位制であり、授業はホームルームとは異なるメンバー構成で行われるため、生徒同士の関係性が希薄になりやすく、また男女比が偏る場合も見られた。そのため、グループワークの実施にあたっては、安心して対話できる環境を整える必要があると考え、事前の関係づくりや進め方の工夫を行った。

また、過去に性暴力被害や人間関係上のトラブルを経験した生徒が在籍している可能性を踏まえ、具体例が過度に現実的となることで不快感や心理的負担を与えることのないよう配慮した。具体的には、事前に保護者へ連絡を行うとともに、授業中に途中退室を認めること、保健室での相談が可能であることなどをあらかじめ周知した。

今後は、保健体育科のみで扱うのではなく、特別活動におけるホームルーム担任による実施や性教育講演会との併用（年次全体への指導が可能）、養護教諭による特別授業、さらには他教科との教科横断的な取組についても検討していきたい。

3 有識者委員から

助産院あさ 院長 吉 裕子 先生

学校現場の中に「大切なからだ」という意識が浸透していく過程に立ち会えたことは感慨深く、本事業に有識者委員として参加させていただきましたことに心より感謝申し上げます。

当初、このデリケートな主題に戸惑いを見せていた先生方が、創意工夫を凝らし、子どもたちの実情に即した授業を展開され、報告される姿は実に印象的でした。「安全」を子どもたちだけで創出することは困難だからこそ、教育委員会と教職員が一体となった今回の取り組みは、生命の安全を守る土壌を作る上での大きな前進であると確信しております。

からだの仕組みを含めて人権を学ぶ「包括的性教育」という土台があってこそ、安全教育における「暴力はいけない」という本質を深く理解することができます。これは、こども家庭庁が進めるプレコンセプションケアの視点からも、自らの性を守るための確固たる基盤となり、ウェルビーイングという人生の目的に繋がっていくものです。「嫌だと言えば止めてもらえる」という尊重の体験や、ジェンダー平等への関わりは、安全を支える確かな実体験となります。本事業の成果が、一部の授業に留まることなく、子どもたちの「一生の宝物」となるよう、園から高校までの系統的な教育と、学校・家庭・地域が連携した継続的な取り組みを今後も期待しております。

札幌市立大学看護学部 准教授 市戸 優人 先生

スマートフォン所有の低年齢化やソーシャルメディアの普及に伴い、青少年のインターネット利用時間は増加傾向にあります。このような環境変化の中で、性犯罪・性暴力のリスクは多様化しており、子どもたちの安全と健康を守る観点から「生命（いのち）の安全教育」による予防的な教育の重要性は一層高まっています。

「生命（いのち）の安全教育」は、知識の獲得をゴールとするのではなく、得た知識を用いて考え、理解に基づいて判断し、自分自身の言葉や行動で表現する力を育むことが重要であると考えます。加えて、お互いを尊重し、相手の気持ちを踏まえた態度や行動を選択できること、そして、自分自身の意思で行動を決定できるようになることが基盤となります。

本実践事例集に掲載されている授業は、子どもたちが「考えること」に重きをおき、子ども同士や子どもと教諭間での対話を通じた相互作用を活用している点に特徴があります。このような対話を含めた学習の機会が、各学年や発達段階に応じて、段階的かつ継続的に、また教科横断的に実施されることにより、子どもたちの「自分も相手も大事にするための力」の涵養につながることが期待されます。

本事業における取り組みを契機とし、まずは教育に携わる側が「生命（いのち）の安全教育」の意義や重要性を改めて共有し、関係機関とも連携しながら、各学校において取り組みに向けた議論と実践が推進されることを願っております。

4 発達の段階に応じたカリキュラム例

校種	学年	内容	ねらい（概要）
幼稚園	年少	<p>じぶんのからだ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体は自分のもので大切である <p>じぶんだけのだいじなところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体の大事な部分「水着や下着で隠れる部分」を知ろう 	<p>○幼児の発達段階に応じて自分と相手の体を大切にできるようにする。</p> <p>関連する教育活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ使い方 ・水遊びの約束 ・不審者対応指導
	年中	<p>じぶんのからだ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体は自分のもので大切である <p>じぶんだけのだいじなところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体の大事な部分「水着や下着で隠れる部分」を知ろう 自分の体の大事な部分を見せたり、触らせたりしない 嫌な触られ方をしたら「いやだ!」「逃げる」「話す」 	
	年長	<p>じぶんのからだ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体は自分のもので大切である <p>水着で隠れる部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体の大事な部分「水着や下着で隠れる部分」を知ろう 自分の体の大事な部分を見せたり、触らせたりしない 友達のプライベートゾーンを見たり、触ったりしない 嫌な触られ方をしたら「いやだ!」「逃げる」「話す」 <p>※幼稚園年長<実践事例>本書P3～P5参照</p>	
小学校	1年生	<p>自他の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命の尊さやすばらしさを知ろう 自分や友達を守る力を育てよう <p>水着で隠れる部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体の大事な部分「水着や下着で隠れる部分」を知ろう 顔や口も大事なところ プライベートゾーンを見せたり、触らせたりしない 他の人のプライベートゾーンを見たり、触ったりしない 見られたり触られたりして嫌な気持ちになったときの対処方法 	<p>○自分と相手の体を大切にできる態度を身に付けることができるようにする。また、性暴力の被害に遭ったとき等に、適切に対応する力を身に付けることができるようにする。</p> <p>関連する教育活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの使い方 ・水遊びの約束 ・特別活動 ・体育科 ・各教科 ・不審者対応訓練
	2年生	<p>自他の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命の尊さやすばらしさを知ろう 自分や友達を守る力を育てよう <p>水着で隠れる部分（プライベートゾーン）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体の大事な部分「水着や下着で隠れる部分」を知ろう 顔や口も大事なところ プライベートゾーンを見せたり、触らせたりしない 他の人のプライベートゾーンを見たり、触ったりしない 見られたり触られたりして嫌な気持ちになったときの対処方法 	

小学校	3年生	<u>自他の尊重</u> ・生命の尊さやすばらしさを知ろう ・自分や友達を守る力を育てよう <u>水着で隠れる部分（プライベートゾーン）</u> ・自分の体の大事な部分「水着や下着で隠れる部分」を知ろう ・顔や口も大事なところ ・プライベートゾーンを見せたり、触らせたりしない ・他の人のプライベートゾーンを見たり、触ったりしない ・見られたり触られたりして嫌な気持ちになったときの対処方法	○自分と相手の体を大切にすることを身に付けることができるようにする。また、性暴力の被害に遭ったとき等に、適切に対応する力を身に付けることができるようにする。
	4年生	<u>自他の尊重</u> ・生命の尊さやすばらしさを知ろう ・自分や友達を守る力を育てよう <u>水着で隠れる部分（プライベートゾーン）</u> ・プライベートゾーンを見せたり、触らせたりしない ・他の人のプライベートゾーンを見たり、触ったりしない ・見られたり触られたりして嫌な気持ちになったときの対処方法 <u>SNSを使うときに気を付けること</u>	<u>関連する教育活動等</u> ・水泳学習の約束 ・特別活動 ・体育科（保健） ・各教科 ・不審者対応訓練
	5年生	<u>自他の尊重</u> ・生命の尊さやすばらしさを知ろう（道徳、特別活動） ・自分の安心、安全を守るための心と体の距離感 ・他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分や友達を守る力を育てよう <u>SNSの危険性</u> ・SNSの危険性を知ろう ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動を考えよう <u>嫌な気持ちになったときの対処方法</u> ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る	○自分と相手の心と体を大切にすることを理解し、よりよい人間関係を構築する態度を身に付けることができるようにする。また、性暴力の被害に遭ったとき等に、適切に対応する力を身に付けることができるようにする。
	6年生	<u>自他の尊重</u> ・生命の尊さやすばらしさを知ろう ・自分の安心、安全を守るための心と体の距離感 ・他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分や友達を守る力を育てよう <u>SNSの危険性</u> ・SNSの危険性を知ろう ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動を考えよう <u>嫌な気持ちになったときの対処方法</u> ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る ※小学校6年生＜実践事例＞本書P6～8参照	<u>関連する教育活動等</u> ・水泳学習の約束 ・宿泊学習 ・特別活動 ・体育科（保健） ・各教科 ・情報モラル教育 ・不審者対応訓練 ・修学旅行

<特別支援学校・特別支援学級における「生命（いのち）の安全教育」について>

ねらい：障害の状態や特性及び発達の状態等に応じて、個別指導を受けた被害・加害児童生徒等、性暴力について正しく理解し、適切に対応する力を身に付けることができるようにする。
 内容：小・中学校向け教材を活用しつつ、児童生徒等の障害の状態や特性及び発達の状態等に応じた個別指導を実施する。

※小学校特別支援学級＜実践事例＞本書P9～P11参照

中学校	1年生	<p>自他の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さやすばらしさを知ろう ・自分以外の他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分の安心、安全や自分以外の他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分や友達を守る力を育てよう <p>性暴力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性暴力とは何か ・性暴力の背景、性暴力の影響 <p>SNSの危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの危険性を知ろう ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動を考えよう <p>デートDV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しい間柄の相手からふるわれる暴力等 ・性的同意について <p>被害にあったときの対処方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る <p>※中学校1年生<実践事例>本書P12~P14参照</p>	<p>○性暴力に関する正しい知識を持ち、性暴力が起きないようにするための考え方・態度を身に付けることができるようにする。また、性暴力が起きたとき等に適切に対応する力を身に付けることができるようにする。</p> <p>関連する教育活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳 ・旅行的行事 ・特別活動 ・保健体育（保健） ・各教科
	2年生	<p>自他の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さやすばらしさを知ろう（特別活動） ・自分以外の他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分の安心、安全や自分以外の他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分や友達を守る力を育てよう（体育科、特別活動） <p>性暴力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性暴力とは何か ・性暴力の背景、性暴力の影響 <p>SNSの危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの危険性を知ろう ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動 <p>デートDV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しい間柄の相手からふるわれる暴力等 ・性的同意について <p>被害にあったときの対処方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る 	
	3年生	<p>自他の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さやすばらしさを知ろう（特別活動） ・自分以外の他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分の安心、安全や自分以外の他の人を尊重するための心と体の距離感 ・自分や友達を守る力を育てよう（体育科、特別活動） <p>性暴力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性暴力とは何か ・性暴力の背景、性暴力の影響 <p>SNSの危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの危険性を知ろう ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動 <p>デートDV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しい間柄の相手からふるわれる暴力等 ・性的同意について <p>被害にあったときの対処方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る 	

高等学校	1年生	<p>自他の尊重 ・生命の尊さ ・距離感 ・境界線</p> <p>性暴力について ・性暴力が起きないようにするためには</p> <p>SNSの危険性 ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動を考えよう</p> <p>デートDV ・具体例とその背景 ・性的同意について</p> <p>JKビジネス ・具体例とその背景</p> <p>セクシャルハラスメント ・具体例とその背景</p> <p>二次被害、性暴力の影響</p> <p>被害にあったときの対処方法 ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る</p> <p>※高等学校2年生<実践事例>本書 P15～P17 参照</p>	<p>○性暴力に関する現状を理解し、正しい知識を持つことができるようにする。また、性暴力が起きないようにするために自ら考え行動しようとする態度や、性暴力が起きたとき等に適切に対応する力を身に付けることができるようにする。</p> <p>関連する教育活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行的行事 ・ 特別活動 ・ 保健体育（保健） ・ 各教科
	2年生	<p>自他の尊重 ・生命の尊さ ・距離感 ・境界線</p> <p>性暴力について ・性暴力が起きないようにするためには</p> <p>SNSの危険性 ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動を考えよう</p> <p>デートDV ・具体例とその背景 ・性的同意について</p> <p>JKビジネス ・具体例とその背景</p> <p>セクシャルハラスメント ・具体例とその背景</p> <p>二次被害、性暴力の影響</p> <p>被害にあったときの対処方法 ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る</p>	
	3年生	<p>自他の尊重 ・生命の尊さ ・距離感 ・境界線</p> <p>性暴力について ・性暴力が起きないようにするためには</p> <p>SNSの危険性 ・被害者、加害者、傍観者にならないための判断と行動を考えよう</p> <p>デートDV ・具体例とその背景 ・性的同意について</p> <p>JKビジネス ・具体例とその背景</p> <p>セクシャルハラスメント ・具体例とその背景</p> <p>二次被害、性暴力の影響</p> <p>被害にあったときの対処方法 ・意思表示の仕方・相談先、相談方法を知る</p>	

卒業前・大学

レイプドラッグ
酩酊に乗じた性暴力
AV 出演強要

※啓発資料（高校卒業直前、大学、一般）

https://www.mext.go.jp/content/20210416-mxt_kyousei02-000014005_35.pdf

5 参考となるホームページ等一覧

文部科学省「生命（いのち）の安全教育 総合ポータルサイト」

https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index2.html

▶ 教材、指導の手引き、動画、リーフレット等を一体的に掲載

文部科学省「生命（いのち）の安全教育」指導例動画

・ 幼児期

【URL】 <https://youtu.be/X2LHjtfJI4o>

・ 小学校(低・中学年)

【URL】 https://youtu.be/0tZ_nwxU1Iw

・ 小学校(高学年)

【URL】 <https://youtu.be/4WcqqCx07lU>

・ 中学校

【URL】 <https://youtu.be/GzK2tP07E-Q>

・ 高校

【URL】 <https://youtu.be/JL5UZAB4rbA>

文部科学省「生命（いのち）の安全教育について（概要資料 PDF）」

https://www.mext.go.jp/content/20230131-mxt_kyoikujinzai02-100001263_7-2.pdf

▶ 取組の趣旨、背景、モデル事業等をまとめた概要資料

厚生労働省「学校における性に関する指導及び 関連する取組の状況について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/001509237.pdf>

内閣府「若年層の性暴力防止に向けた取組」

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/jakunenseibouryoku/index.html

独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズ」

https://www.youtube.com/watch?v=2xyH7RP_N7I

▶ 教員向け研修動画（子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしないための「生命（いのち）の安全教育」について）